

## 9月 定例教育委員会会議録

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 日 時  | 令和元年9月26日(木) 午後5時30分から午後7時2分まで   |
| 2 | 会 場  | 磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室  |
| 3 | 出席者  | 村松啓至教育長<br>鈴木好美委員、青島美子委員、杉本憲司委員、秋元富敏委員   |
| 4 | 出席職員 | 市川暁教育部長、菌田欣也教育総務課長、川倉彰裕学府一体校推進室長、加藤計吾児童青少年政策室長、木野吉文学校給食課長、小澤一則学校教育課長、伊藤八重子中央図書館長、高梨恭孝文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、鈴木都実世幼稚園保育園課長 |

傍 聴 人 0人

(進行委員：杉本憲司委員)

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ・教育長報告

皆さんこんばんは。大変お忙しい中、御参加いただきありがとうございます。

最近の子どもたちの様子ですが、今月は体育大会が行われている学校もあり、充実した日を過ごしています。

各学校から素晴らしい成績を収めた児童生徒が教育長室に来てくれます。

豊田中学1年の堀川雪花さんは、ゴルフの全国大会でベストテンに入りました。先日、サマーゴルフジュニアクラシック西日本決勝大会において優勝し、アメリカに遠征することが決定しました。

神明中学1年の後藤莓衣さんは、硬式テニスをやっていて、全日本ジュニア選手権大会で優勝し、中日新聞では「ジュニアの女王」と紹介されていました。

城山中学校の合唱部は、関東大会出場ということで訪問してくれました。残念ながらNHK全国音楽コンクールには出場できませんでしたが、別の大会の県大会で優秀な成績を収め、関東大会に出場することになりました。城山中学合唱部は8月15日の平和祈念式において歌声を披露してくれて、その時の歌声は大変素晴らしいものでした。

9月21日から秋の交通安全運動が始まりました。朝7時頃から豊田地区にある加茂西の交差点で街頭広報をさせていただきました。自治会の皆さんと一緒に活動をさせていただきましたが、その中に13年くらい活動をしている女性の方がいらっしゃいました。雨の日も風の日も交差点に立ち、見守り活動をしています。その方は高校の先生をやられていたそうで、そのこともあり、毎日、子どもたちを見守り、交差点での待ち時間の際には、子どもたちと話しをしているそうです。その方はそこで元気をもらうことができ、それが喜びです、と話してくれました。本当にありがたいことだと思いました。各地区で子どもたちの安全安心のため、街頭指導や見守りを行っていただいていることに対して、今一度、子どもたちからお礼を言う機会を設け、感謝の気持ちを伝えることが必要であると思いました。また、地域の方たちに子どもたちは支えていただいていると改めて感じました。

磐周地区全体で小学校の行事を精選する動きがあります。それは陸上競技大会、水泳大会、音楽発表会を無くして、課外活動の時間を軽減していこうとするものです。来年度は英語の授業時数が増えます。磐周全体の働き方の見直しの一つとして、軽減した時間を授業時数の増加にあて、先生方の負担を軽減しようとするものです。それと、教育の質をもう一度捉え直していこうという動き

もあります。例えば、水泳大会があることによって、泳げない子どもを泳げるようにしようと努力してきました。先生からすると忙しさに繋がっていますが、泳げない子が泳げるようになるということは、かなり良い影響を与えてきました。泳げるということは自分の命を守ることに繋がります。働き方改革などで、行事を無くすという事はどういう事か、もう一度、子どもの成長について考え、その子の本当の強さを育ててあげる、言いかえれば質的なものについて、小学校の先生方に投げかけているところでもあります。もう一度、磐周地区全ての学校が子どもたちのために、何が必要なのかの本質を捉え直す時期が来ているのだと思います。

### 3 前回議事録の承認

8月29日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

### 4 教育部長報告

○議会について報告させていただきます。

先日、一般質問があり、教育委員会関係では5人から質問が出ました。

戸塚議員から学校給食と食品ロスの質問があり、当局からは学校給食をおいしく食べるための工夫として、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供したり、提供時の食材のカットの大きさを工夫したりして、少しでも残食数を減らす取り組みを行っています。

岡議員からは図書館に対しての質問がありました。赤松文庫を後世に残すために電子化し、それをさらに発展させて現在では、商業コンテンツも含めた電子化を図っているところです。

学校教育における磐田市のICTの整備状況については、各学校とも1つのクラス全員がパソコン1台とタブレット1台を使える数を保有しています。

鈴木喜文議員から、ながふじ学府一体校の制服について質問が出されました。現在はPTAが中心となり検討中ということです。最終的には校長が判断し、制服が決まることとなります。

草地議員からは児童クラブの長期休暇中の取り組みについて質問があり、産業大学での取り組みを紹介しました。それから、児童クラブの18時を超える運営については、支援員の確保の問題等でなかなか難しい状況です。なお、他市では18時30分まで運営する形が主流になりつつあるようです。

インフルエンザによる出席停止に関する制度が変わりました。今後、磐周地区はインフルエンザから復帰するときに、登校許可書の提出が必要無くなりました。これにより、再診の際の感染リスクが減ることや、診察料がかからなくなるなど、負担軽減に繋がりました。

夜間中学の設置については、教育長からコメントをいただきたいと思います。

○夜間中学の設置について、静岡県全体で見ると磐田市にニーズが少しあるように思います。例えば、こども・若者相談センターで、ひきこもりを見てくれています。その子たちがもう一度学び直したいということであれば、夜間中学に行くという選択肢が生まれます。磐田市として、研究していく必要があると思いますので、調査、研究を行っていきたいと考えています。

<質疑・意見>

なし

## 5 議事

・議案第28号 磐田市歴史文書館運営審議会委員の委嘱等について

○委員の任期が令和元年8月31日に満了となることから、今回委員の委嘱等について審議をお願いするものです。

歴史文書館の委員ですが、10年を経過し、発足当初の委員の役割は十分果たしていただいたものと考えております。歴史文書館を取り巻く環境も変化する中、今後の歴史文書館の運営について、協議していただきたく、新たな委員として、和崎光太郎さんと高尾純男さんに御就任いただきたくと考えております

また、本来でしたら、任期終了の8月末までに議案として御審議いただくべきところですが、人選等に時間を要したということから、本定例会での上程となったものです。

なお、新たな委員の任期については令和元年9月1日から令和3年8月31日までの2年間です。

<質疑・意見>

○委員の皆さまには、いろいろとご教授いただきましたので、お会いできる機会がございましたら、感謝を伝えたいと考えています。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第28号は原案どおり承認された。

## 6 報告事項

### (1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

○亀山市視察対応の内容について教えてください。

○磐田市社会教育委員会の提言書の内容が非常に充実しているということで、作成の視点や過程について、是非お話を伺いたいということで、亀山市教育委員会から5名が来磐し、懇談形式で対応をさせていただいたものです。

○バス路線退出についての内容を教えてください。

○議員勉強会において報告させていただいた、バス路線の退出についてですが、これは国道150号を通る佐鳴台線で、浜松駅から横須賀高校までを結ぶ路線です。以前は袋井、掛川から浜松へ買い物に行かれる一般の利用者が多くありましたが、最近はほとんどなく、掛川、竜洋、福田に住む方たちの、横須賀高校に通うための路線となっています。遠州鉄道としては、乗務員不足と採算性の問題から、路線退出の申し出があったものです。

高校生の通学手段の確保という点で、磐田、袋井、掛川の3市でいろいろ代替方策等を協議してきましたが、調整が上手くいかず、この件については止むなしということで、説明させていただきました。

○この件についてはやむを得ないと考えているわけですが、県の横須賀高校の存続にかかわる問題ですし、存続したい考えを持っているようです。また、中学生の進路にも関わる問題となります。

○高校までの通学路に市費でバスを運行することは難しいと考えます。

この件については、中学校で行われる12月の三者面談までに、各中学校の先生から保護者、生徒に説明をしてくれることになっています。

## (2) 幼稚園保育園課

○竜洋地区の保育園の民営化に関して、磐田市から通知があったということを他市の園から伺いましたが、その事について教えてください。

○昨年度、民営化する運営法人を募集し、決定するところまで進めたかったのですが、竜洋地区については応募する法人がなく決定に至りませんでしたので、再募集し令和元年度中に決定していくことで進めていくことは、この場においてご報告したところでした。今年度に入り、再募集のための説明会開催の案内をしましたが、参加法人はありませんでした。そのことを受け、浜松市内において園を運営している法人に対して直接通知を発送させていただき、2法人から民営化に関して関心がある旨の返事をいただきましたので、説明をさせていただきました。磐田市から通知があったというものはこの通知のことであると思います。なお、今後、運営法人決定のためのプロポーザルを実施していきたいと考えております。詳細が決まり次第、皆様にご報告させていただきます。

○応募する法人が決まらない状況でも、民営化する方向ですか。

○幼保再編計画に基づき、竜洋西保育園と竜洋北保育園を統合し民営化する方針の中で動いており、運営法人を探している段階でありますので、その方向性に変わりはありません。

## (3) 教育総務課

- ・磐田市長等の給料の特例に関する条例の制定について
- ・普通教室への空調設置工事について

<質疑・意見>

なし

## (4) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

## (5) 学校教育課

- ・平成31年度全国学力・学習状況調査について

○最初に、調査内容についてです。昨年度まで国語A、国語Bのように、主として知識を問う問題と、知識を活用する問題に分かれていましたが、今年度からAB両方の内容を一体化した問題に変更されています。また、中学校では英語の調査が初めて実施されましたが、話すことの結果は市町ごとの結果は公表せず、全国の正答率を参考値として公表されました。

各教科の結果についてですが、平均正答率、正答数は小学校、中学校ともにすべての教科で、国の平均を上回っています。

児童生徒質問紙の結果ですが、「自分にはよいところがあると思う。」という質問に対して、「はい」と回答した割合が小学校・中学校ともに全国より上回りました。しかしながら、昨年度と同調査を比較すると小学校では、3.6%の減、中学校は3.3%の減となっていますが、一定の高さを示しています。さらに、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」については、本市の小学校、中学校ともに、全国と県を上回っていることから、教師による自尊感情を高める取

組が実践されているものと考えております。

また、「今住んでいる地域の行事に参加している」は、国の数値も昨年度より増加していますが、本市はそれを大きく上回っているのは、地域とともにコミュニティスクールを推進している成果が表れているのではないかと考えています。さらに、「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」については、国や県よりも上回っており、本市でこれまで話す活動を積極的に取り組んできた表れであると考えております。

昨年度この場で、「国語の勉強が好きか」のことについて、その質問はなかったといいましたが、本年度はまたそれが復活しました。その結果ですが、小学生は少しずつ改善傾向であるものの8.8ポイント、国より低かったですが、中学校においては、4.8ポイント高くなっています。その理由をはっきりしませんが、中学校の国語の正答率が他の教科よりも大きく上回っていることから、これまで課題として取り組んできた成果が表れてきていると考えています。

今後の働きかけにも関連する点ですが、特に家庭・地域のところについては、これまで取り組んできた「1時間は集中して家庭学習に取り組む」、「めりはりのある生活習慣を身に付ける」、「親子の会話の促進」という取組や、「地域と関わる」ことを引き続いて大切にしていきたいです。

今後、この市全体の結果を、各校の児童生徒の実態をもとに、学校へは提言を、保護者には、リーフレットにまとめて配付し、さらに充実した教育が行われるようにしていきます。

<質疑・意見>

○アンケート結果から、磐田市独自の教育や取組みが、地域活動に参加するなど、子どもたちに良い影響を及ぼしていると考えていますか。

○地域の行事に参加している中学生は30%以上ということで、いい影響があると考えています。

○英語の取組みはどのように捉えていますか。

○スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する取組みについても全国や県よりも上回っていますので、小学校からの積み重ねだと捉えています。

○ここ数年の傾向を含め、今回の結果に対して手応えを感じていますか。

○中学校の結果は年々良くなっています。また、国語については全国や県の平均より大きく上回っています。それに相乗した形で国語が好きだという意見が久しぶりに上回っています。

英語について中学校の教員に聞くと、生徒の英語のコミュニケーションに対する抵抗感は明らかに減っていると聞きます。小さいときから英会話や英語活動などを実施していますので、その経験はすごく大きいものだと思います。

○先日、南部中でスピークプロジェクトを見させていただきました。中学3年生がグループをつくり、英語でコミュニケーションを図るもので、最初はぎこちなく進むのですが、すぐに打ち解けて話ができるようになっていました。あるグループは英語の歌を歌っているところもありました。これを見て、磐田市の英語力はたいしたものだと感動しました。

## (6) 中央図書館

○W杯ラグビー・チームキャンプおはなし会の内容について教えてください。

○磐田市でキャンプを行うアイルランド、オーストラリア、ロシアの3カ国に関わるお話をしました。一番なじみ深いところで、ロシアの「大きなかぶ」をエプロンシアターで職員が実施しました。オーストラリアはアボリジニの昔から伝わるお話。アイルランドはハロウィン発祥の地という説があることから、ハロウィンのお話をしました。その後は、ラグビーに関するクイズを出題し、なか

なか難しいものでしたが、子どもたちは一生懸命に答えてくれました。

スポーツ戦略室からのイベントとして、元ラグビー日本代表の方がお二人見え、実際にラグビーボールをキャッチしたり、リフトを披露したりしたあと、子どもたちにも実際に体験してもらいました。非常に和やかな楽しい会となりました。

## (7) 文化財課

<質疑・意見>

なし

## 7 協議事項

・令和2年度の学校教育及び社会教育に関する一般方針等について（意見聴取）

○本市の教育行政に関する一般方針や主な施策を広く一般に周知するために、「教育目標と教育長、教育委員からお伝えしたいこと」の作成をしているところです。本日は委員の皆様は教育目標や一般方針について、広く全般的に御意見をいただき、今後それを反映した企画、来年度の予算の計上をしていきたいと考えております。

まず、教育目標についてですが、平成17年度に5市町村が合併し、教育目標を「ふるさとを愛し、未来をひらく、こころ豊かな磐田市民の育成」としました。その後、平成22年度に育成をとって、「ふるさとを愛し、未来をひらく、こころ豊かな磐田市民」という現在の形となりました。

令和2年度につきましても、引き続きこの目標でよろしいか御意見を伺いたいと思います。

○このまま継続でよろしいでしょうか。

<協議事項の承認>

一同同意

○一般方針になりますが、計画体系という主な事業で構成されていまして、方針1から3まであり、平成22年度から継続しています。各方針の施策は、平成28年度から継続しています。この中の詳細については、毎年ご意見をいただきながら修正を加えているところです。

なお、令和2年度版の詳細につきましては、当初予算の内示後の1月中旬に決まることとなります。こちらの施策の内容について、ご意見があればお願いします。

○方針の1、2、3の説明内容は、子どもを中心とした考えや表現をしているように思います。子どもの育つ土壌をつくるのは大人だと考えていますので、そういう意味で教育委員会のメッセージの中に、土壌づくりという言葉をもとに具体的な施策に入ってくるように、知恵を絞っていかないといけないと思います。

○昨年度の先進校の視察で新BOPという放課後児童クラブと放課後子供教室が融合した活動を見させていただき、磐田版の放課後児童クラブを、早急に研究し、取り入れていけたらと思っています。磐田市の勉強のプログラムなどは、かなり先進的な位置にいます。遊ぶ力が、例えば子どもたちだけで遊ぶ時間や、遊びの場などが足りないと思います。遊ぶ力が中学校の部活動などに繋がると思います。今は親や地域の人や学校の先生などの支援者がいる中でしか遊べない子どもがいますが、もう少しオープンな状況で活動ができる遊びや野外活動ができれば良いと考えます。

○学びの場や環境については、具体的な活動を施策の中に入れてたりして、見える化できる部分はして

いけば良いと思います。方針1、2、3についても、検討した上で、修正や追加ができるものがあるれば、していきたいと考えます。

<協議事項の承認>

一同同意

## **8 その他**

なし

## **9 次回教育委員会の日程確認**

・定例教育委員会

日時：令和元年10月24日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

## **10 閉会**